

男気溢れる若手社長が 職人と目指す大きな夢とは



株式会社 愛貴建設

神奈川健横浜市港南区日野南1-30-13 三友ハイツ 101

URL : <https://aikikensethu.com>

足場工事・鉄骨工事・土木工事を手掛けている『愛貴建設』。「安心・安全・丁寧」を合言葉に、若い職人たちが質の高い現場を納めており、多くの依頼を集めている会社だ。本日は、同社の茂木社長のもとを俳優の志垣太郎氏が訪問。社長の熱い人柄に迫った。

代表取締役
茂木 貴也

interview

俳優
志垣 太郎



——まずは茂木社長の歩みから順を追つて伺います。

地元はここ横浜ですね。15歳で社会に出て、一番最初は左官屋で働き始めました。後に、現在手掛けている足場工事にシフトしていったんです。そうして経験を積んで23歳の時に独立しました。

——経験は長いですが、一般的にはお若い独立だと感じました。きっかけは何でしたか。

何度も他の建設会社さんから「今より高い日給を出すから、うちに来ないか?」と声が掛かるようになったんですね。ただ、勤めていたところにはお世話になりましたし、義理もある。いくら給料が良くても移ることはありませんでした。そんな時に、今までの2倍近くの日給を提示してくれた方がいたんですね。それでも移る気はなく、お断りしたんですが、その時「お前は何がしたいんだ?」と言われたんです。改めて考えた時に、会社を移るぐらいなら独立して若手を育てて

いきたいと感じ、独立したんです。

——男氣があります。実際に独立されていかがでしたか。

資金がない状態で、仲間や後輩を集めでのスタートでしたが、当初は毎月のように赤字でした。それを補填するために、夜に他所で働いたこともあります。人に何度も裏切られましたが、こちらから裏切ることは絶対にせず、がむしゃらに働いてきました。そうしているうちに徐々に信頼できる仲間たちが集まってきたくてくれたんです。

——その人柄に惹かれて仲間が集まってきたことだと思います。現在どのような仕事をメインに手掛けているのですか。

関東地域を拠点に新築マンションや高層ビル、倉庫など大型建造物に伴う足場工事や鉄骨工事、鍛冶工事を「安心・安全・丁寧」の精神で手掛けています。当社の自慢は、若い職人たちのチームワーク。機動力を活かした施工で、お客様の様々なニーズに応えられる自信がありますから、一度当社を頼ってほしいですね。

——若手人材が不足している中で、それはすごいですね。

上は32歳で下は19歳ですね。中には、15歳の時から一緒に働いている子もいます。やんちゃな子が多く、その子も昔は仕事を無断で休んで、逃げることもありましたが、根気強く付き合い、悪いこ

とをしたら、ぶっ飛ばしてきました。今彼は23歳で、家族もいますし、とても立派に育ってくれています。右腕のような存在ではありますが、私が独立した時と同じ年齢ですし、彼には早く独立して、広い世界を見てほしいです。

——見捨てる事なく、向き合ってきたと。最後に今後の目標をお聞かせ下さい。

独立時の目標は、30歳までに従業員を100名以上の企業にすることでした。今27歳で、目標まであと3年ですが、これからもその目標に向けて突っ走っていきたいですね。そして、「知らない人はいない」そんな会社にしたいです。

(2020年6月取材)



「茂木社長は、若い時から努力し続けて、求心力がある、男氣あふれる私の大好きな人柄でした。これからも、皆を率いて頑張っていってほしいですね。陰ながらになりますが、応援しています」

志垣 太郎・談

